

令和6年度事業報告

I 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰

◆個人4、団体6、学校1、企業1 を表彰

- ・個人：朝日憲雄、藤田満雄、山岸稔、清水武正
- ・団体：まつもと輝きたい、槇山を育てる会、日本野鳥の会福井県、グループ山川田、郷の森里楽、環境シティズンシップ教育の会
- ・学校：福井市美山中学校 ・企業：二光技建設株式会社



2 ふくいまるごと環境学び舎

○より質の高く、効果の高い環境活動を行うため、環境について学ぶ講演セミナー等を開催する。

◆環境ふくい未来創造事業助成団体へのアドバイスを実施(随時)

◆会員向けセミナーを開催

日 時：令和7年1月27日(月)10:30~12:00

会 場：アオッサ6階 研修室607

テーマ：自然環境の変化とそれに伴う防災対策

講 師：鈴木アドバイザー、防災士 辻子裕二氏、救急救命士 梶田宏幸氏) <参加者:41名>

3 環境マネジメント推進事業

○主に事業所の環境管理者等を対象に、環境に関する先進的取組を行っている企業の見学会等を実施する。

◆企業会員向けセミナー

日 時：令和6年12月9日(月) 13:30~15:00

会 場：オンライン

講 師：福井県環境政策課、(一財)日本冷媒・環境保全機構(JRECO)

テーマ：フロン特定製品(オフィスエアコン、冷凍機など)管理者向け研修 <参加者:136名>

4 市町環境連携事業

○市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対してその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。(福井市10万円、その他市町5万円)

◆10市町に助成

- ・越前市：アースデイえちぜん2024(5月19日(日))
- ・福井市環境推進会議：福井市環境フェア(6月29日(土))
- ・大野市：自然ふれあい探検隊事業(6月・9月)
- ・永平寺町：「環境ポスター」図画作品コンクール(10月8日(火)~10月30日(土))
- ・あわら市エコ市民会議：あわらの自然発見ツアー(10月12日(土))
- ・つるが環境みらいネットワーク：つるが環境フェア(11月23日(土))
- ・坂井市：エコアクションさかい 九頭竜川河口部清掃活動(11月24日(日))
- ・小浜市：木育ワークショップ(11月30日(土))
- ・勝山市消費者団地連絡協議会：消費者まつり(11月30日(土))
- ・南越前町：不法投棄防止啓発事業(3月1日(土)~3月25日(火))



5 こどもエコクラブ活動促進事業

○こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

- ・助成団体数：3クラブ(福井市鷹巣小学校、坂井市立丸岡南中学校、おおい町立大島小学校)
- ・エコクラブ登録数:32クラブ、メンバー数:1,963人
- ・福井市鷹巣小学校5・6年『鷹巣の海を守り隊』が全国エコ活コンクールにて都道府県代表クラブに選出

6 SATOYAMA国内ネットワーク推進

○本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。

◆SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク

・幹事会 8月開催(書面)

7 親子で環境活動推進事業

○小学生の親子を対象に、「50の自然体験」に関連する自然体験イベントを実施する。

◆イベント:『三方五湖トレジャー!』

◆日 時: 10/13(日)《伝統漁法体験プログラム》
10/26(土)《生き物観察プログラム》 <参加者:計9組25名>

◆会 場:三方五湖周辺(若狭町)

◆主 管:一般社団法人 Switch Switch



8 プラスチックごみ削減推進事業

○近年大きな問題となっているプラスチックごみの削減のため、身近にできる取組事例の情報提供などを行うオンライン上映等を実施する。

◆11月23日(土・祝) 福井県生活学習館3階 映像ホール
映画『プラスチックの海』上映会を開催



9 ふくいの環境を守るための資格取得支援事業

○企業、団体会員が環境保全に関係する資格を取得する際の必要経費を補助する。

◆助成実績(申請:7企業・団体、23名のうち、助成:6企業・団体、17名)

- ・特定非営利活動法人 森林楽校・森んこ : キャンプインストラクター、3R・気候変動検定
- ・特定非営利活動法人エコプランふくい : 自然観察指導員、RACリーダー
- ・福井県自然観察指導員の会 : 自然観察指導員
- ・Dream∞Lab : 環境管理士1級
- ・福井きのこ会 : きのことアドバイザー
- ・信越半導体株式会社 武生工場 : 大気関係第4種公害防止管理者

10 カーボンニュートラル普及推進事業【新規】

○会員をはじめ広く一般を対象にカーボンニュートラルカードゲーム体験会を提供する。
また、体験会に参加した会員がカードゲームファシリテーター資格を取得する際の費用を補助する。

◆カードゲーム体験会

【1回目】

・日 時: 令和6年8月1日(木) 14時~16時

・場 所: アオッサ7階 会議室706、707(ふくい県民活動・ボランティアセンター) <参加者:12名>

【2回目】

・日 時: 令和7年1月18日(土)14時~16時 ※ 対象:大学生、海ごみ拾い後に実施

・場 所: 坂井市 雄島コミュニティセンター <参加者:15名>

◆資格取得にかかる費用の助成

・助成金額: 2050カーボンニュートラル運営ライセンス費用助成 1件



第1回 体験会の様子

※カーボンニュートラル:二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」から植林や森林管理等による「吸収量」を差し引いて、実質的にゼロにすること。

11 エコニュージェネ事業【新規】

○環境保全や省エネに参加する次世代人材の発掘、育成を行い、人材の循環を図る。
20～40代を中心としたワーキンググループを結成し、環境ふくい推進協議会が目指す、団体、企業、県民の環境活動が次世代にわたって持続できるような事業を検討し、提言としてまとめる。

◆メンバー：高井委員、大橋委員、正木委員、土田氏(株)ハピラインふくい)、水口氏(水口木材(株))

◆結果：ワーキンググループを開催

第1回：課題の洗い出し(9/6)

第2回：課題をもとに解決方法、ありたい姿の検討(10/2)

第3回：具体的な事業検討と提言内容のまとめ(10/28)

➡ 第2回企画委員会にて報告(11/21)

12 設立30周年記念事業【新規】

○協議会設立より30周年を記念して、功労者の表彰や協議会事業を県内外へPRする。

◆30周年記念誌(みんなのかんきょう特別号)発行：12月上旬～中旬にかけて発送済(HPでも掲載中)

- ・会長や環境保全活動を行っている人たちへインタビュー
- ・地球環境問題への取り組みと協議会、県、世界の流れがわかる年表 等

◆功労者表彰：来年度総会にて表彰

- ・企画委員4期8年以上で現職：皆川委員、畑中委員

◆30周年記念会員証発行

- ・協議会ホームページから申請、事務局がPDFデータで送付

◆30周年PR：環境ふくい推進協議会ホームページのトップページに掲載済

- ・協議会のロゴに30周年である文言を加え、ホームページやチラシ、アプリ等で活用



30周年記念誌



30周年記念会員証



30周年ロゴ

Ⅱ 普及広報事業

1 情報誌発行事業

- ◆「みんなのかんきょう」を協議会会員、小・中・高等学校等に配布する
- ・12月上旬～中旬にかけて「みんなのかんきょう特別号(30周年記念誌)」を送送

2 ホームページ等による普及広報

- ◆ホームページやFacebookを活用し、お知らせやイベント情報を発信(随時)
- ・ホームページ累計閲覧数 21,812件
- ◆Facebook
- ・投稿回数 36回

3 メールマガジンの配信による普及広報

- ◆「イベントお知らせ編」 24回(3月末見込み)【毎月第2、4金曜日】
- ◆「法令編」 22回【随時】
- ◆「特別号」 8回【随時】※各種イベントにかかる参加者募集等



4 「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」普及広報

- ◆冊子を印刷し、各小学校の新1年生に配布(6月27日)
- ◆デコ活ふくいテレビ番組(10/29放送回)にて紹介
- 親子で環境活動推進事業「三方五湖トレジャー」にて、参加した小学生に配布
- ◆環境アドバイザーへ冊子を配布
- アドバイザー活動の中で活用してもらうことで、子どもたちへの普及を図る



デコ活ふくいYouTube



5 各市町環境フェアにおける普及広報

- 県内で開催される各市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供するとともに、協議会の周知を図る。

- ・5月19日(日) アースデイ越前2024(越前市)
- ・6月16日(日) さばえ環境フェア2024(鯖江市)
- ・6月29日(土) 福井市環境フェア(福井市)
- ・9月 7日(土) こどもエコひろば2024(坂井市)
- ・9月21日(土)～22日(日) さばえSDGsフェス(鯖江市)
- ・11月23日(土) つるが環境フェア(敦賀市)
- ・3月 2日(日) あわら市環境展(あわら市)

<出展内容>

- ・デコ活ふくいのPR



Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

○学校や自治会等が開催する研修会へ講師を派遣 97(講師 138人)

<派遣分野>

- ・自然体験：59件(82人)
- ・環境教室：38件(56人)

(参考:令和5年度実績)

104件(講師124人)



2 リペア・リユース推進事業

○壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施する。

11月4日(月・祝)ハピテラスにて、「わくわく!もったいないフェスタ2024」を実施。

◆修理ボランティアの人材育成

- ・洋服とぬいぐるみの修理を行うための技術を習得する講座の開催

11月4日(月・祝) 第1回 10:30~12:30、第2回 13:30~15:30

- ・おもちゃの修理技術を習得する講座の開催

12月8日(日)

◆古本市の開催

- ・古本市の開催(11月4日(月・祝))

- ・無人古本市の設置 ユーアイふくい、嚮陽会館



3 家庭の省エネ(デコ活)推進事業【拡充】

○家庭部門のCO₂排出削減に向けて、省エネ行動に対するポイントの付与や自らの行動によるCO₂削減効果の見える化などを通じ、家庭でできる身近な省エネ活動に楽しく取り組む県民運動の輪を拡げていく。

◆県民運動を「デコ活ふくい」と題し、テレビや新聞、SNSなど、複数のメディアを通して普及啓発を実施

◆ふくecoアプリ運用開始 6月14日(金)~

- ・令和5年度に県で開発したスマートフォンアプリ「ふくeco」を活用し、デコ活ふくいの普及啓発を実施
- ・「ふくeco」では、情報発信やポイント付与、CO₂削減効果の見える化を行い、県民の省エネ行動の習慣化を図る。
- ・登録者数 7,409人(3月31日時点)

※デコ活:二酸化炭素を減らす(Decarbonization)と環境にいいエコ(eco)を含む“デコ”に活動・生活を組み合わせた 新しい言葉。

IV 特別会計

環境ふくい未来創造事業【拡充】

○県民・事業者等から提供された資金により、福井県環境基本計画を推進する活動を行う団体へ助成する。

- ◆第1回育成支援部会(7月10日(水))において申請団体によるプレゼンテーションを実施
- ◆第2回育成支援部会(3月19日(水))において助成団体からの事業報告を実施
- ◆令和6年度申請状況

- ・スタート応援枠（新しく事業を立ち上げる団体等への助成） 1団体申請
- ・共働活動応援枠(新たに他団体と共働して活動する団体等への助成) 3団体申請

<スタート応援枠> ※上限を10万円から20万円へ引き上げ

申請団体名 代表者名・所在地	普 段 の 活 動 内 容	助 成 を 受 け て 行 う 活 動 の 概 要	助成 (円)
株式会社まちUいけだ 代表 田崎 健治 池田町	・地域資源の活用と再発掘 ・地域商品と地域サービスの展開 ・地域経済の開拓と創造 ・地域雇用の創出	【里の子たんけん隊】 ・ツリーピクニックアドベンチャーいけだ園内を利用した親子対象自然体験活動およびイベントの開催 ・池田町内の団体、企業と連携したイベントの実施	18万 9千円

<共働活動応援枠> ※上限を30万円から50万円へ引き上げ

申請団体名 代表者名・所在地	普 段 の 活 動 内 容	助 成 を 受 け て 行 う 活 動 の 概 要	助成 (円)
あわらの自然を愛する会 会長 河田勝治 あわら市	・調査活動及び保全活動 ・在来植生の育生 ・苗の配付および植栽 ・活動の広報と交流	【赤尾湿地を守り育て後世に遺そう】 ・赤尾湿地内での「自然観察会」「浮島体験会」の実施（あわら市内および坂井市内小学校対象事業） ・アシ材を利用したストローの体験制作会の実施（一般応募による事業） ※資金助成申請2年目	29万 1千円
特定非営利活動法人 森林楽校・森んこ 代表 萩原茂雄 おおい町	・社会教育の推進 ・まちづくりの推進 ・環境保全活動 ・子どもの健全育成を図る活動	【針葉樹林の里山林を広葉樹との混合林化にする】 ・植樹体験会、林内見学会の実施 ・事業の広報と活動情報発信の強化 ・野外学習用作業路の整備(学生との共働) ・人工林の間伐と広葉樹の植林 ※資金助成申請2年目	50万
さとやま子育てコミュニティ いけだのそら 代表 酒田真澄美 池田町	「子育てコミュニティ」 ・親子対象の自然体験の提供 「森のようちえん」 ・野外活動を中心とした保育活動	【子どもの森暮らし基地づくり】 ・小学生を対象としたイベントの開催（森も基地づくり・森のデッキづくり） ・活動フィールド内の作業路と活動場所の整備 ※資金助成申請2年目	50万